



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 今井廣史 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	254,550	1.4	27,020	△11.9	29,303	△10.8	12,575	97.3
30年3月期第3四半期	251,017	19.2	30,680	42.0	32,855	48.0	6,375	△60.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,011百万円(△89.6%) 30年3月期第3四半期 19,255百万円 (22.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	57.18	57.10
30年3月期第3四半期	28.71	28.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	417,451	253,030	59.9
30年3月期	440,519	259,940	58.4

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 249,959百万円 30年3月期 257,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
31年3月期	—	9.00	—		
31年3月期(予想)				10.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	2.2	34,000	△12.6	37,000	△9.5	18,000	37.9	81.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(平成31年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	237,075,556株	30年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	18,576,875株	30年3月期	15,054,569株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	219,907,679株	30年3月期3Q	222,005,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成31年1月31日(木)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済は緩やかな回復基調が持続しているものの、米国政権の通商政策に端を発した貿易摩擦の激化など世界経済をめぐる懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,545億50百万円となり、前年同期に比べて35億33百万円の増収となりました。また、営業利益は270億20百万円と前年同期に比べて36億59百万円の減益、経常利益は293億3百万円と前年同期に比べて35億53百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は125億75百万円と前年同期に比べて62億1百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、国内販売は堅調に推移し、また海外子会社の売上高も前年同期を上回りましたが、輸出販売は安価な天然ゴムの影響で市場価格が低迷し、前年同期を下回りました。その結果、全体では売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益では前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、国内樹脂改質用ラテックスおよび中国向けの販売等が一時低調であったことなどから、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

化成品関連では、国内販売・輸出・タイ子会社とも堅調に推移し、全体の売上高は前年同期を上回りましたが、原料価格の上昇の影響を受けたため、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて32億12百万円増加し1,492億21百万円、営業利益は前年同期に比べて22億40百万円減少し144億1百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学・医療用途の販売が堅調に推移しました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムとモバイル向け光学フィルムともに顧客の在庫調整の影響を受けました。この結果、高機能樹脂および部材事業全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

情報材料関連では、電子材料の売上高は前年同期を下回りましたが、トナーおよび電池材料の売上高が堅調に推移した結果、全体の売上高、営業利益はともに前年同期を上回りました。

化学品関連では、香料市場において需給バランスがタイトな市場環境の下で価格改定を進めており、売上高、営業利益ともに前年を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて14億84百万円減少し646億62百万円、営業利益は前年同期に比べて4億37百万円減少し129億62百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は前年同期に比べて20億63百万円増加し425億43百万円、営業利益は前年同期に比べて5億97百万円減少し19億51百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、230億68百万円減少し、4,174億51百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、投資有価証券の減少等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、161億58百万円減少し、1,644億21百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、社債の償還等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、69億11百万円減少し、2,530億30百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、連結子会社において減損損失を計上すること及び最近の業績動向を踏まえ、平成31年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成31年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,666	32,062
受取手形及び売掛金	75,787	79,240
電子記録債権	3,557	3,552
商品及び製品	45,448	52,934
仕掛品	4,689	4,596
原材料及び貯蔵品	13,759	14,511
未収入金	36,241	34,367
その他	3,810	4,813
貸倒引当金	△97	△99
流動資産合計	224,859	225,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,914	39,702
機械装置及び運搬具(純額)	45,888	35,659
土地	18,246	18,251
建設仮勘定	5,285	5,428
その他(純額)	4,225	3,157
有形固定資産合計	115,559	102,197
無形固定資産		
その他	3,355	3,089
無形固定資産合計	3,355	3,089
投資その他の資産		
投資有価証券	87,362	77,100
繰延税金資産	886	810
その他	8,726	8,510
貸倒引当金	△228	△229
投資その他の資産合計	96,746	86,190
固定資産合計	215,660	191,476
資産合計	440,519	417,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,103	82,722
電子記録債務	2,900	3,741
短期借入金	16,573	14,095
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	4,920	2,229
賞与引当金	2,160	561
その他の引当金	2,032	2,998
その他	19,576	21,658
流動負債合計	139,264	128,004
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,000	2,000
繰延税金負債	10,060	5,690
退職給付に係る負債	12,181	12,482
その他の引当金	1,359	397
その他	5,715	5,848
固定負債合計	41,315	36,417
負債合計	180,579	164,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,240	19,240
利益剰余金	190,273	198,884
自己株式	△12,245	△17,238
株主資本合計	221,480	225,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,771	23,122
繰延ヘッジ損益	△2	△1
為替換算調整勘定	3,925	3,667
退職給付に係る調整累計額	△2,008	△1,926
その他の包括利益累計額合計	35,687	24,862
新株予約権	246	283
非支配株主持分	2,527	2,788
純資産合計	259,940	253,030
負債純資産合計	440,519	417,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	251,017	254,550
売上原価	174,554	180,390
売上総利益	76,463	74,160
販売費及び一般管理費	45,783	47,140
営業利益	30,680	27,020
営業外収益		
受取利息	81	104
受取配当金	1,595	1,693
為替差益	662	343
持分法による投資利益	224	180
雑収入	325	570
営業外収益合計	2,886	2,890
営業外費用		
支払利息	249	156
休止固定資産減価償却費	278	159
雑損失	183	293
営業外費用合計	710	607
経常利益	32,855	29,303
特別利益		
固定資産売却益	2	7
投資有価証券売却益	231	1
為替換算調整勘定取崩益	316	—
その他	72	0
特別利益合計	622	9
特別損失		
固定資産処分損	358	362
減損損失	14,726	8,561
その他	2,472	37
特別損失合計	17,556	8,961
税金等調整前四半期純利益	15,921	20,351
法人税等	9,222	7,509
四半期純利益	6,700	12,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	325	266
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,375	12,575

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	6,700	12,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,429	△10,650
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△1,016	△288
退職給付に係る調整額	1,125	82
持分法適用会社に対する持分相当額	17	25
その他の包括利益合計	12,555	△10,830
四半期包括利益	19,255	2,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,790	1,750
非支配株主に係る四半期包括利益	465	261

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	144,588	66,146	210,734	40,283	251,017	—	251,017
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,422	—	1,422	197	1,618	△1,618	—
計	146,009	66,146	212,155	40,480	252,635	△1,618	251,017
セグメント利益	16,642	13,400	30,042	2,548	32,590	△1,910	30,680

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,910百万円は、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,931百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては14,709百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	147,570	64,662	212,232	42,318	254,550	—	254,550
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,651	—	1,651	226	1,876	△1,876	—
計	149,221	64,662	213,883	42,543	256,426	△1,876	254,550
セグメント利益	14,401	12,962	27,364	1,951	29,315	△2,295	27,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,295百万円は、セグメント間取引消去26百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,320百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,561百万円であります。